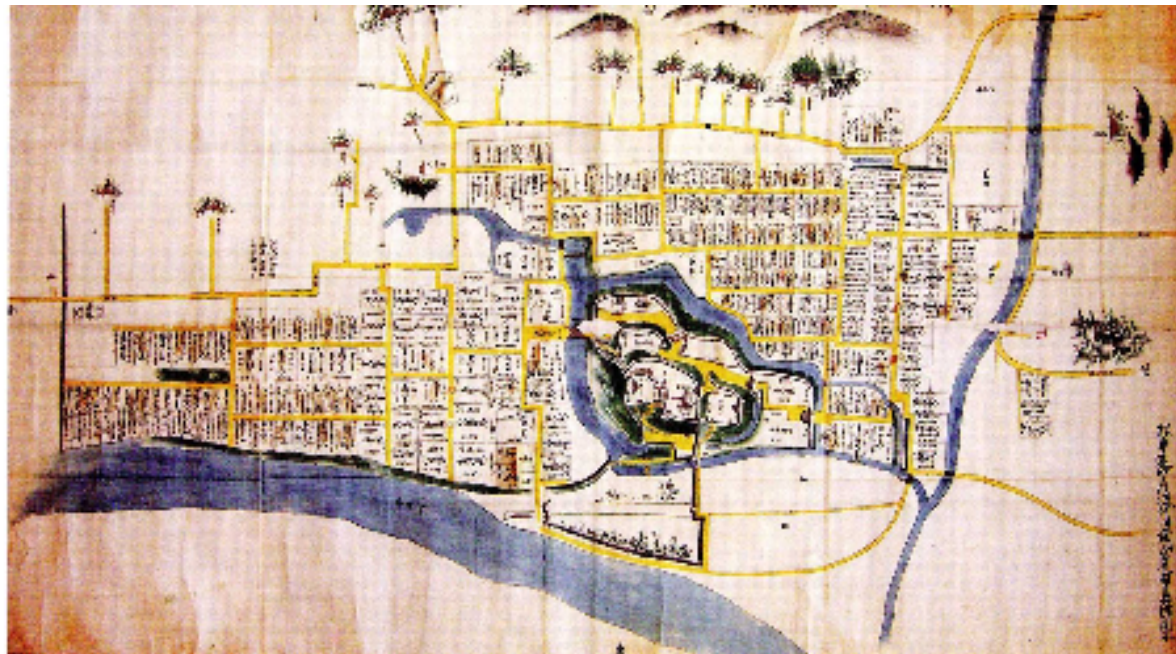


歴史と自然に彩られたふるさと飯山まちづくり



飯山まちづくりデザイン会議

平成23年8月19日

第Ⅰ章. まちづくりの全体ストーリー P4

第Ⅱ章. まちづくりを推進するエリアとデザインイメージ P9～P14

第Ⅲ章. まちづくりを進めるための提案 P15～P19

—はじめに—

平成26年度末には、北陸新幹線が金沢まで延伸し、「飯山駅」が開業する。

新幹線の高速大量輸送は、地域に経済的、社会的に大きなインパクトを与え飯山市も新たな時代の幕開けを迎える。

飯山市では、新幹線開業に向けた「アクションプラン」を策定し、観光推進の目標のひとつとして、「まちなか観光の充実（回遊性のあるまちづくり）」を掲げた。

「飯山まちづくりデザイン会議」は、この「まちなか観光」を具体的に進めるために、その方向性とデザインについて提案をするものである。

第Ⅰ章. まちづくりの全体ストーリー

目的に向かって着実にまちづくりを進めるための事業展開を以下に示します。

「歴史と自然に彩られた ふるさと飯山まちづくり」

1. まちづくりデザインの基本

飯山の持つ「歴史」と「四季鮮やかな自然」を活用し、市民が活力を発揮する場を創出する

2. 来訪者を意識した「飯山のイメージデザイン」を考える

歴史、まち並み、自然の素材を生かした、来訪者に感動を与えるまちづくりデザイン

3. 感動を与える 飯山の「イメージデザイン」とは

- ・ふるさとを思わせる「ほっとした安らぎの空間」、「四季の鮮やかさを感ずる植栽空間(庭)」の演出
- ・「ゆったりとした時の流れ」に身をゆだねる、飯山の歴史(城山・寺町)巡り、散策
- ・新鮮な農産物でつくる「食の感動」によるコミュニケーション
- ・まち歩きが楽しくなる食やマルシェ(市場)、伝統産業や芸術・文化を巡る界隈性のある連続的賑わいの場の創出

4. まちづくりの展開

まちなかをゾーンに分け特徴を生かしたまちづくりを魅力向上プロジェクトにより推進

「魅せる」要素 (歴史・自然・景観・人)

- ☑四季、植物・生物
- ☑飯山城
- ☑寺院群
- ☑正受庵
- ☑伝統工芸と匠の技
- ☑高橋まゆみ人形館
- ☑古い建物(町家、蔵、雁木)
- ☑山、千曲川、小水路 など

「楽しむ」要素

- ☑自然の中でのくらし
- ☑健康・スポーツ
(スキー、ウォーキング、マラソン、サイクリングなど)
- ☑カルチャー(花、仏像彫、音楽、写真)
- ☑産業ツーリズム(仏壇工場などの見学)
- ☑お寺体験(座禅、説法、精進料理) など

「味わう」要素

- ☑笹寿司
- ☑富倉そば
- ☑地酒
- ☑和菓子(和スイーツ)
- ☑米
- ☑地域の野菜(アスパラなど)
- ☑きのこ
- ☑みゆきポーク など

めざすまちの姿

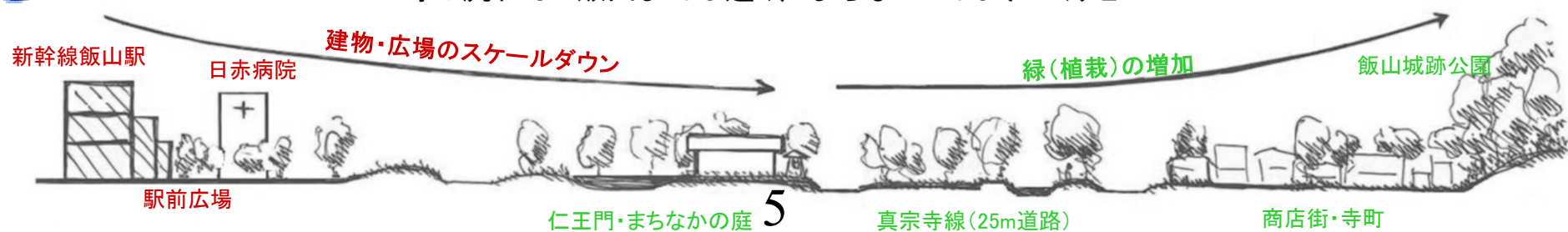
・自然が豊かで四季を感じるまち ・景観に優れたまち ・歴史と文化を感じるまち



（東京から110分／金沢から65分）



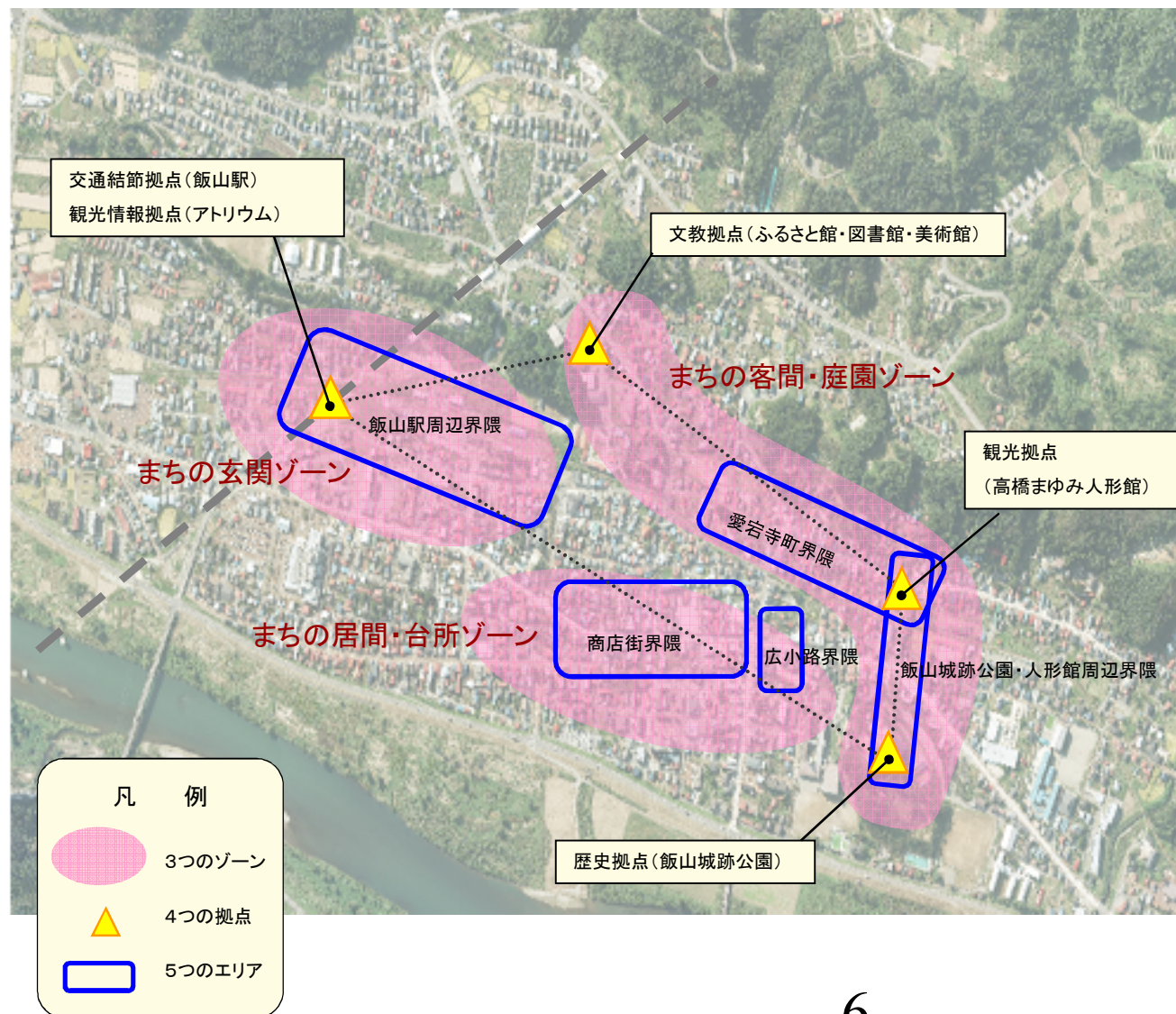
時の流れは 飯山までは速く、“まちなか”ではゆっくりと……



まちづくりの展開

魅力向上プロジェクトでまちなかをイメージアップ

3つのゾーンと4つの拠点と5つの推進エリアでまちづくりを展開



魅力向上プロジェクト

『美しいまち』プロジェクト

- 建物修景の推進
- 植栽による修景の推進
- 案内表示板(サイン)整備の推進
- 環境美化の推進
- 芸術性を感じるまちなか演出(工芸品の活用など)
- 時間と共に深みが出る自然素材の活用

『まちなか賑わい』プロジェクト

- 飯山版の商品開発の推進
- 賑わいをもたらす起業家の誘致と支援
- 新たなスタイルの店舗リニューアル支援

『歴史と文化を伝える仕掛け』プロジェクト

- 歴史の見える化の推進
飯山にまつわる歴史や文化を物や人・ITなどでわかりやすく伝える。
- 地元の産物を使った食の提供
- 優れた人材のまちづくりへの参画
- お寺さんとのまちづくりへの参画
- お寺さんによる精神文化の教え

『まち“庭”』プロジェクト

- 飯山の特長を活かした“庭”の整備推進
(植栽による四季の雰囲気づくり)
- 朝市、オープンカフェの開催
- 歩く人の休息、賑わい・憩いの場の提供

「魅力向上プロジェクト(市民と協働のまちづくりの具体例)」

『美しいまち』プロジェクト

☑建築修景の例



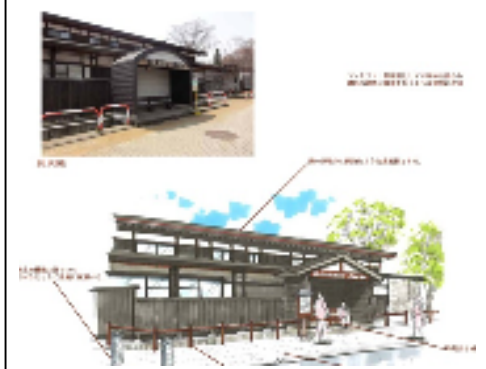
主に回遊する通り沿いの既存建物の修景
(補助制度を創設し、住民と修景する。)

☑植栽修景の例(四季彩を演出)



主に回遊する通り沿いの民地に植栽
(補助制度を創設し、住民と修景する。)

☑工作物の修景の例



城下町や寺町の風情にあったものに修景
(塀や柵・案内標識・バス停などを修景する。)

☑歩道や玄関先などの修景の例



植栽とあわせて歩道も自然素材を使用し、
時間の経過とともに風合いが出るものに修景
(参道やセットバックした民地のしつらえ
に補助制度を創設し、住民と修景する。)

『まちなか賑わい』プロジェクト

☑商品の開発や統一したパッケージデザインの例



- ・飯山駅でしか購入できない
地域食材を活かした駅弁
(謙信寿司御膳や
飯山ふるさと弁当など)

- ・お土産の包装紙などは飯山
らしさデザインしたものに

『歴史と文化を伝える仕掛け』プロジェクト

☑歴史を楽しく・わかりやすく伝える例



- ・だれもが案内人になれるよ
うな人材育成
- ・訪れる人のニーズにあわせ
た案内(IT活用も含めて)
- ・飯山城址公園界隈では歴
史案内に加え、甲冑などを
まとった撮影サービスも・・・

☑まちなかの優れた人材をまちづくりへ参画する例



まちなかには、技術に富んだ人材
が豊富におり、教室を開いている方
や全国的に展覧会などを行っている
方もいます。そうした人材をまちづ
りの一環として考えたい。
(写真は愛宕町の柳本氏の仏像)

『まち“庭”』プロジェクト

☑“庭”の整備推進と活用(例)

☑鉄砲町児童公園の整備活用



☑西敬寺付近での小公園整備



☑雪と寺の町シンボル広場の整備活用 (仁王門)



☑新幹線飯山駅の3つの広場の整備と活用 とアトリウムでの観光情報発信



☑桜の保存と活用



☑真宗寺線(25m道路)の整備と活用



☑飯山港を活かした整備

☑市民会館に替わる(仮称)飯山ぶらざは飯山城跡公園から市街地に移し、賑わいの拠点として市民や来訪者も使用できる機能を充実する。

☑“庭”で休憩・ふるさとにふれる例



歩くまちには休息する場所も必要。庭園の中で地元野菜の販売や地酒・ジュース・和菓子などの地元ならではの加工品を提供
(写真は寺町駐車場の活用例)

☑ぶらり広場の有効活用

☑雪と寺の町公園の整備と活用



推進エリア1
飯山駅周辺界限

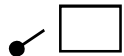
推進エリア2
愛宕寺町界限

推進エリア5
商店街界限

推進エリア4
広小路界限

推進エリア3
飯山城跡公園・人形館周辺界限

凡 例



まち“庭”の箇所



まちづくり推進エリア(詳細は9頁から記載)



修景でつなぐルート(回遊ルート)

第Ⅱ章. まちづくりを推進するエリアとデザインイメージ

5つの推進エリアに対して、各々の地域性を活かした具体的なまちづくりを提案します。

推進エリア1	推進エリア2	推進エリア3	推進エリア4	推進エリア5
飯山駅周辺界隈	愛宕寺町界隈	飯山城跡公園・人形館界隈	広小路界隈	商店街界隈
<位置づけ> 『まちの玄関』 ・飯山と周辺地域をつなぐ情報発信拠点 ・周囲の豊かな自然への入口 <コンセプト> 観せる・知る・味わう 情報発信のまち ①自然空間の創出 ②北信州イメージの景観形成の重点化 ③広場・空地を活用した市民活動の展開 ④道の駅直売所的機能を駅前で展開 ⑤開業に備えたお土産や食事処の出店誘致 ⑥まち案内ガイドの充実 <駅前の広場イメージ> 	<位置づけ> 『まちの客間・庭園』 ・小京都の風情を醸し出す落ち着いた空間 <コンセプト> 伝統を受け継ぎ、 歴史を育む寺のまち ①寺の境内・参道・遊歩道の雰囲気づくり(植栽) ②通りから見える伝統工芸品(仏壇など)のディスプレイ ③休息できる空間の提供 ④雰囲気のある飲食店誘致 ⑤お寺とのコラボレーション(禅体験、精進料理など) ⑥香り(お香など)でまちの雰囲気を伝える。 <まちなみイメージ> 	<位置づけ> 『まちの客間・庭園』 ・来客をもてなす空間 <コンセプト> 飯山の歴史とふるさと文化を魅了するまち ①飯山城跡公園の整備と活用 ②周辺の空地を利用した朝市やオープンカフェ ③既存建物を活用したお土産や食事処の出店 ④飯山城跡公園と人形館を意識したもてなし機能の強化 <まちなみイメージ> 	<位置づけ> 『まちの居間・台所』 ・落ち着いたある雰囲気です食を楽しむ空間 <コンセプト> 食とくつろぎのまち ①既存土蔵を活用した、商業活動の展開 ②広小路駐車場を活用した賑わい広場の展開(パティオ) ③地域ならではの食の提供 <くつろぎ空間イメージ> 	<位置づけ> 『まちの居間・台所』 ・賑わいを通じて市民と来訪者が交わる空間 <コンセプト> 集い・交わり・賑わいのまち ①生活の中にある食の提供 ②「魅せる」歩行者中心の通りづくり(祭りの時のような) ③「泊る」の質と量の充実 ④空き店舗や空き地の柔軟な活用 ⑤六斎市の充実 ⑥まちなみ修景 <賑わい空間イメージ> 
環境美化の推進による美しいまちを創出する。				

(推進エリア1) 飯山駅周辺界隈のまちづくりデザインイメージ

・・・観せる・知る・味わう情報発信のまち・・・

<ハードデザイン>

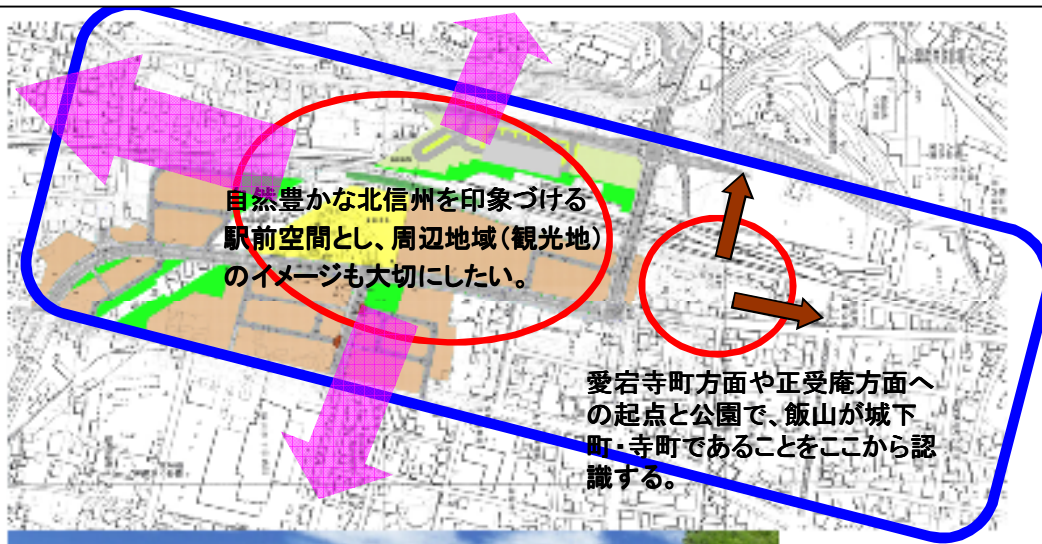
駅周辺は飯山の自然を感じられる植栽や水路を自然素材を使い、時間とともに味わいが出る空間とする。
周辺の山々も駅前の空間づくりの重要な要素であるから、借景も活用することが有効である。

<ソフトデザイン>

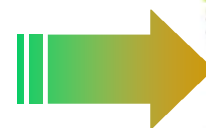
外部から企業等の進出が想定される地域であり、北信州の玄関のイメージを壊されないためにも景観形成のためのルールを整える。広場では広域的なイベントや朝市、オープンカフェが開催され来訪者との交流が深まるようにしたい。

まちづくりの役割分担

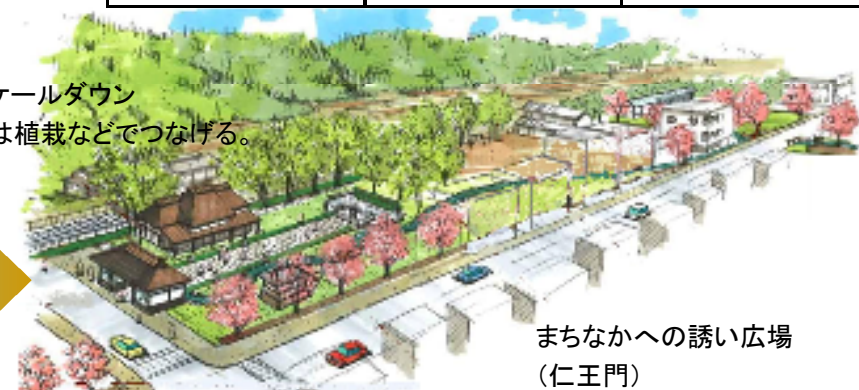
魅力向上プロジェクト	地域のみなさん	市・専門家など
美しいまちプロジェクト	・建物修景 ・花づくり活動 ・通りの植栽 ・まちづくりルールづくり	・技術的サポート ・補助制度の創設
まち“庭”プロジェクト	・朝市開催 ・オープンカフェ開催 ・イベント開催	・広場の整備 ・場所の提供 ・物品の貸出
まちなか賑わいプロジェクト	・お土産の開発 ・駅弁の商品化 ・商業施設の出店	・技術的サポート ・補助制度の創設 ・起業支援
歴史と文化を伝える仕掛けプロジェクト	・まちの案内人	・案内人の育成 ・案内サインの整備



まちなかへのスケールダウン
空間のつながりは植栽などでつなげる。



10



(推進エリア2) 愛宕寺町界隈のまちづくりデザインイメージ

・・・伝統を受け継ぎ、歴史を育む寺のまち・・・

<ハードデザイン>

石置や生け垣など寺町の佇まいを感じさせる庭(植栽)やまちなみを創出する。

<ソフトデザイン>

寺での体験や庭園、仏壇、仏像等を見学できる場や休憩できる場を提供する。



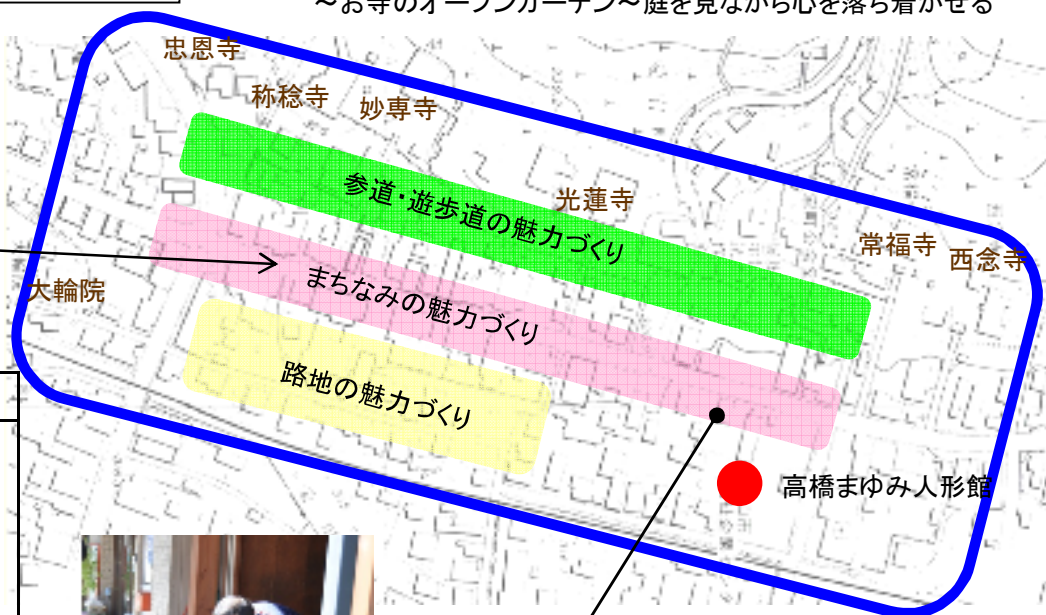
～お寺のオープンガーデン～庭を見ながら心を落ち着かせる



～寺町の風情を醸し出すまちなみや植栽～

まちづくりの役割分担

魅力向上プロジェクト	地域のみなさん	市・専門家など
美しいまちプロジェクト	- 建物修景 - 花づくり活動 - 通りや参道の植栽 - まちづくりルールづくり - お寺の庭づくり - お香でおもてなし	- 技術的サポート - 補助制度の創設
まち“庭”プロジェクト	- 休憩の場の提供 - オープンカフェなど	- 広場の整備 - 物品の貸出
まちなか賑わいプロジェクト	- 店舗リニューアル - 商品開発	- 技術的サポート - 補助制度の創設
歴史と文化を伝える仕掛けプロジェクト	- まちの案内人 - お寺で禅、説法 - 名人の展覧会 - オープン教室	- 案内人の育成 - 案内サインの整備 - 広報、宣伝 - 補助制度の創設



～伝統工芸・人材発掘とまちおこし～



～寺町の風情と交流の場～

(推進エリア3)

飯山城跡公園・人形館界隈のまちづくりデザインイメージ

・・・飯山の歴史とふるさと文化を魅了するまち・・・

<ハードデザイン>

石畳や生け垣など寺町の佇まいを感じさせる植栽や町並を整える。また、飯山城(本丸・二の丸)と寺町をつなぎ城下町の風情を醸し出す。

<ソフトデザイン>

高橋まゆみ人形館の雰囲気をもちの中にも取り入れるため、ふるさと性を醸し出す郷土料理や地元農産物・加工品の販売を店舗や空き地等で提供する。



広場や空地を活用した朝市



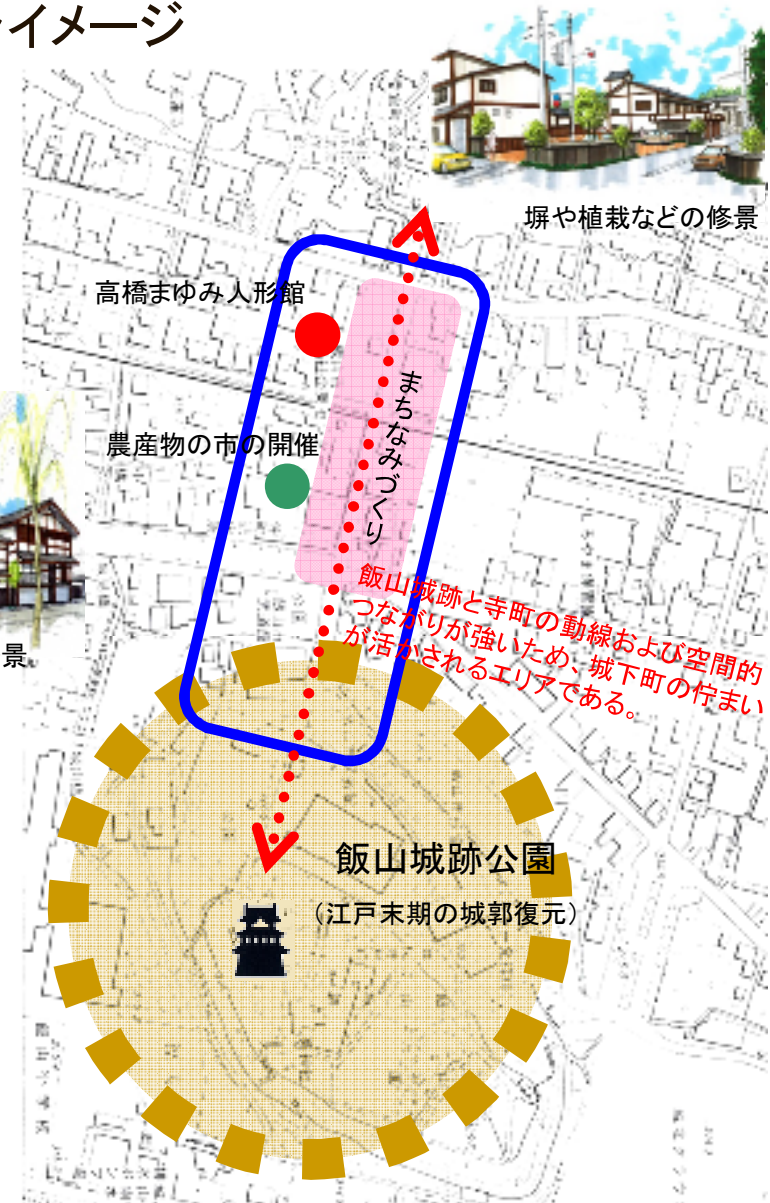
郷土料理の提供



城下町を醸し出す建築修景

まちづくりの役割分担

魅力向上プロジェクト	地域のみなさん	市・専門家など
美しいまちプロジェクト	- 建物修景 - 花づくり活動 - 通りや参道の植栽 - まちづくりルールづくり	- 技術的サポート - 補助制度の創設
まち“庭”プロジェクト	- 休憩の場の提供 - オープンカフェなど	- 広場の整備 - 物品の貸出
まちなか賑わいプロジェクト	- 店舗リニューアル - 商業施設の出店 - 商品開発	- 技術的サポート - 補助制度の創設 - 起業支援
歴史と文化を伝える仕掛けプロジェクト	- まちの案内人 - 郷土食の提供	- 案内人の育成 - 案内サインの整備 - 補助制度の創設



(推進エリア4) 広小路界隈のまちづくりデザインイメージ

…食とくつろぎのまち…

<ハードデザイン>

既存の蔵の活用や、四季の彩りを感じる樹木でパティオ的な空間を整備する。また、飯山城跡公園とが近いロケーションであるため、城山の見え方(借景)を工夫したデザインとする。

<ソフトデザイン>

有名な地酒屋や菓子屋・和紙屋と賑わいの要素が高いエリアであることから、商店との協力により経済効果を上げる。



滞在時間を長くするため店舗からの食事サービスも含めたオープンカフェイメージ

既存の建物資源を活かしたパティオイメージ



まちづくりの役割分担

魅力向上プロジェクト	地域のみなさん	市・専門家など
美しいまちプロジェクト	・蔵の活用 ・建物修景 ・花づくり活動 ・通りや参道の植栽 ・まちづくりルールづくり	・技術的サポート ・補助制度の創設
まち“庭”プロジェクト	・イベント企画 ・オープンカフェ	・広場の整備 ・駐車場整備
まちなか賑わいプロジェクト	・店舗リニューアル ・商業施設の出店 ・商品開発	・技術的サポート ・補助制度の創設 ・起業支援
歴史と文化を伝える仕掛けプロジェクト	・郷土料理の提供 ・地元農産物の販売 ・和スイーツの開催	・案内人の育成 ・場所の提供 ・補助制度の創設



(推進エリア5) 商店街界隈のまちづくりデザインイメージ

・・・集い・交わり・賑わいのまち・・・

<ハードデザイン>

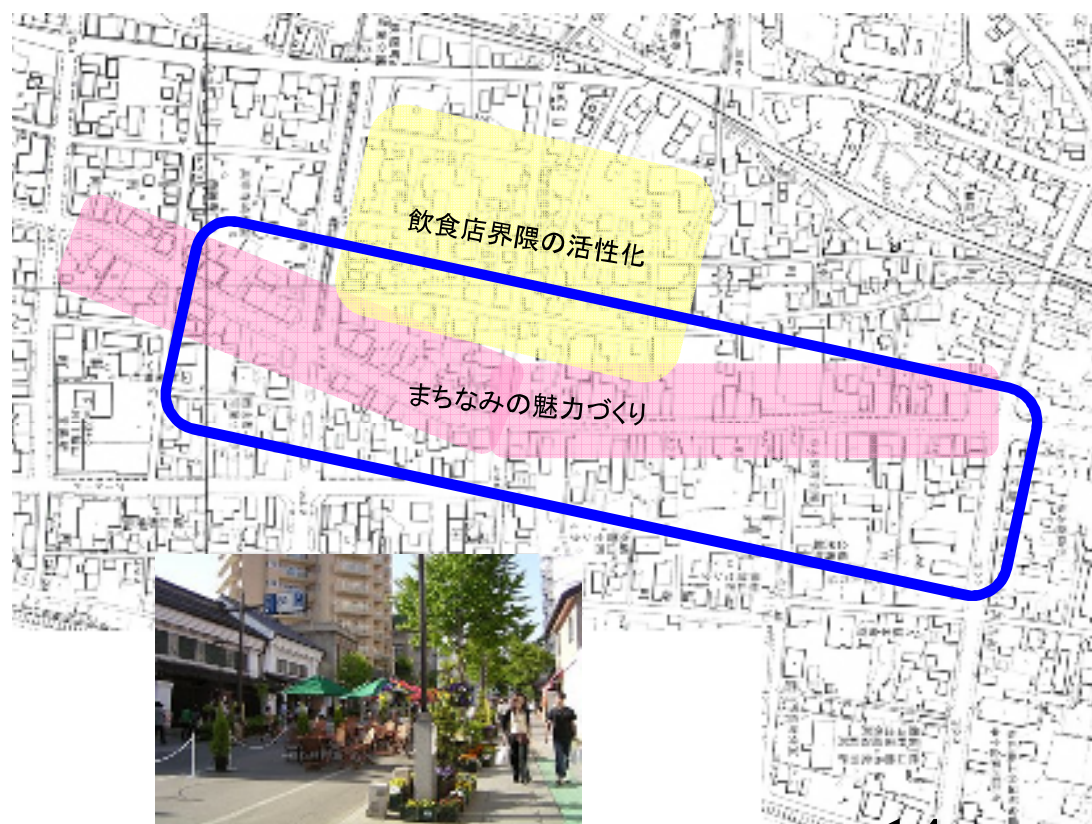
まちなみの修景は色調や形状などを地域のみなさんとルールを決める中で整えていくことが重要である。

<ソフトデザイン>

植栽や休憩スペースが配置できるような歩行者空間をつくり、祭りの時のように歩いて楽しい通りをつくる。若い世代がまちなかで活躍(起業)できるような仕掛けをするとともに、飲食店や宿泊施設の充実を図り、昼夜賑わいのあるまちを考える。

まちづくりの役割分担

魅力向上プロジェクト	地域のみなさん	市・専門家など
美しいまちプロジェクト	・建物修景 ・アーケード修景 ・通りの植栽 ・花づくり活動 ・まちづくりルールづくり ・環境美化	・技術的サポート ・補助制度創設
まち“庭”プロジェクト	・常設屋台村など ※六斎市が良い例になっている。	・技術的サポート ・補助制度創設 ・駐車場整備
まちなか賑わいプロジェクト	・店舗リニューアル ・商業施設の出店 ・商品開発	・技術的サポート ・補助制度の創設 ・起業支援



中央通りは賑わい空間イメージ(整備された道路を活用)



いいやまマルシェイメージ
(農産物を一堂に会して販売・調理)



気軽に立ち寄れる(カフェ)
出店のイメージ



空地などを活用した常設の屋台村イメージ

第Ⅲ章. まちづくりを進めるための提案

まちづくりの目標を達成するために以下の推進策を提案します。

(1) 市民のまちづくりに対する支援

魅力向上プロジェクトを実施する際に、市民が行う活動に対して支援する内容は以下のとおりです。

項 目	概 要	支援内容
建物修景への支援	まちなみ修景のため、まちづくりルールを定めた地域(住民協定など)に支援を行う。 (建物の外壁や屋根など)	・技術的サポート (建築士や造園士など専門家派遣) ・修景工事費用の補助 ・講習会の開催 
植栽修景への支援	まちなみ修景のため、まちづくりルールを定めた(住民協定など)地域に支援を行う。 (建物周りの植栽や工作物など)	・技術的サポート (建築士や造園士など専門家派遣) ・修景工事費用の補助 ・講習会の開催 
まちの活性化事業への支援	まちづくり団体が行おうとする事業に対して支援を行う。 (オープンカフェ、朝市、マルシェの出店など)	・テントなどの道具の貸出 ・運営資金の補助 ・ノウハウの講習会 ・場所の提供 
商業・観光・産業への支援	・飯山モデルの商品開発・起業・テナントミックスやIT活用などの商業・観光活動に対する支援を行う。 ・特産物や農産物の第6次産業開発などに対する支援を行う。	・技術的サポート (デザイナーや専門家派遣) ・商品化への資金補助 ・店舗改修費用の補助 ・起業に対する補助 
その他の支援	・その他まちづくりに係る活動に対して支援を行う。 ・「楽しむ」「味わう」ためのまちづくりに対して支援を行う。(まちづくり社会実験・まちづくり研究活動など)	・技術的サポート (専門家派遣) ・活動資金補助

(2) エリアマネジメント(計画・整備から活動・管理まで)の定着化

継続的にまちづくりを進めるため以下のようなしくみを提案します。

- 市民(住民)・組織・企業・団体・研究機関(大学など)・専門家・行政のプラットフォームによる横断的な連携と協議の場づくり
- まちづくりコーディネーターの起用
- 地域のまちづくりリーダーの育成
- 地域に根差すまちづくりルールを作成(後世へ受け継がれるまちづくりのために)
- 地域の賑わい創出のための企画・立案・運営
- 公共施設の維持管理などの里親制度の導入

一貫した考えのもとでエリアの質の向上を図る(エリアマネジメント)の流れイメージ

※まちを継続的に維持するには「まちづくりのルール」と「マネジメントする人」が必要

①計画(考える)



協議の場(プラットフォーム)の醸成

②整備(つくる)



まちなみ修景整備

③活動(つかう)



通りの賑わい創出

④維持管理(守る・磨く)



住民による維持活動

(3) 情報提供のツール開発と案内人の育成と拡大

■飯山らしいデザイン化されたツールによる情報提供(市民・来訪者が共有できるもの)と誰でも案内人になれる人材育成と人材拡大

デザイン化されたツールで情報提供のイメージ



誰でも案内ができる人材育成と拡大のイメージ

<育成>

- ・講習会を開催(行政・団体主催)
- ・ふるさと検定の受験と認定書発行
- ・分野別案内人の育成

<拡大>

- ・おせっかい案内人登録(どちらかというと地域に根差した方)
- ・まちなか案内マイスター制度(登録・認定・伝承)
- ・登録者には特典がある。

【先進事例:長崎さるく】



“さるく”とはぶらぶら歩くという長崎弁。観光者のニーズによってまちなか観光の仕方が色々用意されている。

- ①マップを片手に自由に歩く「長崎遊さるく」コース別にマップが多数用意されている。
- ②長崎名物・さるくガイド(市民ガイド)といっしょにまちなかを歩く「長崎通さるく」
- ③専門家の講座や体験を通して探求する「長崎学さるく」

(4) 推進のための課題

■ 地域住民との連携

- ☑まちづくりを実現するには、地域住民の方や関係団体等多岐にわたる人々の力が必要である。提案した推進エリアの関係者と話し合いを進め、着実にまちづくりを進める必要がある。

■ 修景を進める上での課題

- ☑飯山らしいまちなみ創出のためには、修景ガイドライン等を作成し、事業を促進することが重要であるが、そのためには各分野の専門家スタッフと修景に対する支援制度が必要である。
(例えば、ガイドラインは、建物の色調、形状、壁面後退、植栽の種類、しつらえ方などを示す。)

■ 歴史的素材の活用の課題

- ☑歴史を持った資源は、新たにつくられたものでは醸し出せない良さがある。ただしハード整備だけではその価値を伝える事はできない。ストーリー性をもったソフトとハードの両方を整えたうえで歴史的素材を有効的に活用することが必要である。
(例えば、蒸気機関車、土蔵、樹木など)

(5) 全体の推進スケジュール

地元関係者との調整が必要となるが、基本的には新幹線開業を短期整備として達成可能なところから進めることとします。

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度 新幹線飯山駅開業 (H26年度末)	平成27年度
魅力向上プロジェクト	・まちづくり補助制度創設 ・修景モデル事業実施	・まちづくり補助実施 ・賑わい経済活性化支援 ・まちなかサイン設置 ・まち“庭”整備 ・歴史と文化を伝える仕掛け整備			・まちづくり補助実施 ・まち“庭”整備
5つの推進エリアの実施時期(目安)					
関連事業	・飯山城跡公園整備計画 ・(仮称)飯山ぷらざ 基本設計 ・雪と寺のまち公園整備	・飯山城跡公園整備 ・(仮称)飯山ぷらざ 実施設計 ・仁王門整備	・飯山城跡公園整備 ・(仮称)飯山ぷらざ建設	・飯山城跡公園整備 ・(仮称)飯山ぷらざ建設	・飯山城跡公園開園 ・(仮称)飯山ぷらざ開館

— あとがき —

まちには、心地よい空間と心地よい人間関係があって、

それをコンセプトといくつかの要素によって組みあわせる事によって、

まち全体の良さ(価値)の増大につながる。

住まう人は誇りに思い、来訪者は魅了される。

飯山は四季が明快である。

豊かな自然に抱かれながら、歴史を大切にしていくことがこのまちの価値である。



～飯山まちづくりデザイン会議～